



# 30 正立フロントフォーク・ 10 インチフロントディスクブレ - キセット 取扱説明書

商品番号 : 06 01 0724  
 適応車種 : モンキー / ゴリラ  
 フレーム番号 : Z50J-1300017 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

## 正しく安全にご使用頂くために

- ・当製品は10インチ車専用のフロントフォークとディスクブレ - キのセットです。取り付けには当社10インチ用アルミホイールが必要となります。又スイングアームは12cmロングもしくは16cmロングを使用しそれぞれのスイングアームに見合ったリヤショックを取り付けて下さい。
- ・当製品は30フォークキット、30ステアリングキット、220フロ - ティングディスクロータ - 、フロントブレ - キキャリパー、フロントブレ - キマスタ - シリンダ - およびフロントブレ - キホ - スセットを組み合わせた物です。それぞれの説明書をよくお読み頂いてご使用下さい。
- ・ブレ - キフル - ド補給時にゴミや水を混入させないで下さい。又、化学変化を防止するため銘柄の異なるブレ - キフル - ドを混用しないで下さい。
- ・ブレ - キフル - ドは、塗装プラスチックゴム面を傷めるので部品類に付着させないで下さい。

**注意** 下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物の損害が想定される内容を示しています。

作業を行なう際は平坦で足場のしっかりした所を選び車両を安定させた状態で行なって下さい。  
 作業は必ずエンジン冷間時(35以下)に行なって下さい。エンジンやマフラーが冷えていない状態で作業を行なった場合、火傷の原因となります。  
 ブレ - キディスクやブレ - キパットに油脂類を付着させた場合は、パットを交換しブレ - キディスクを脱脂して下さい。ブレ - キ性能を失う可能性があります。  
 ブレ - キドラム内に蓄積する粉じんは有害性があるので、ホイールハブ内やブレ - キパネル周辺の粉じんが飛び散らないように市販のブレ - キクリ - ナ - 等で処理しながら作業を行なって下さい。

当製品を使用してフロントをディスクブレーキに変更するには、下記の当社製品が必要です。

- 取り付けネジサイズ10mmのミラー (各1個入り)
- オーバルスライドタイプミラー (06 01 110)
- NC31タイプミラー (06 01 111)
- 角スライドタイプミラー (06 01 112)
- MINIミラー(右専用) (06 01 113)
- ミラーアダプター(2個入り) (06 01 100)

純正ミラー及び取り付けネジサイズ8mmのミラー使用時のみ必要

フロントブレーキを油圧ディスクにした場合、フロントマスターシリンダを取り付ける為、STDスロットルハウジング(ブレーキレバー一体式)を取り外す必要がありますので、当社製ハイスロットルセット若しくはホンダ純正部品が必要です。

- 当社製品
- ハイスロットルセット(ケーブル長810mm)(09 02 02)
- ハイスロットルセット(ケーブル長700mm)(09 02 021)
- 当社製キャブレターキット用(KEIHIN PC18キャブレター以外)

ホンダ純正部品

- スロットルハウジング(1個) (53168 166 000)
- スロットルハウジング(1個) (53167 GE4 000)
- パンスクリュー 5x22(2個)(93500 05022 0G)

STDキャブレター及び当社製KEIHIN PC18キャブレター用

フレームNO. Z50J - 1300017 ~ 1510400の車両に当製品を取り付ける場合、別途下記部品が必要です。

- 遠心クラッチ車
- コンビネーションスイッチASSY (02 01 015)
- マニュアルクラッチ車
- クラッチレバー & コンビネーションスイッチASSY (02 01 016)

## 特 徴

ハイパワーエンジンに対応した高剛性フロントサスペンションと強力なストッピングパワーを発揮するディスクブレーキのセットです。インナーチューブ径30mmのオリジナルフロントフォークは、フリーバルブタイプの減衰力発生機構により安定性を向上させ、リバウンド時のショックを低減させます。又、DUメタルにより作動性を向上させています。ディスクブレーキは、30フォーク専用のホイールハブに外径220mmのダクタイル鋳鉄製フローティングディスクブレーキを使用し、摩擦係数を高めブレーキの引き摺りを低減させて安定した制動力を得ることが出来ます。

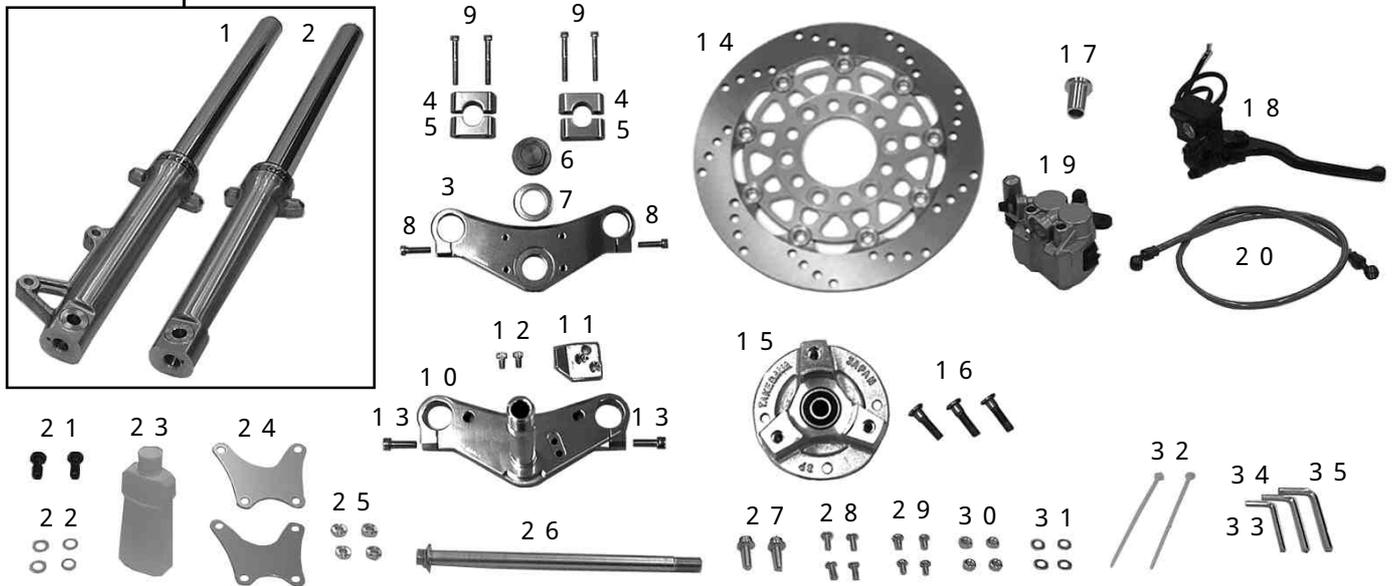
性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

クレームについては、商品の材料および加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

## ～商品内容～

06 01 0723

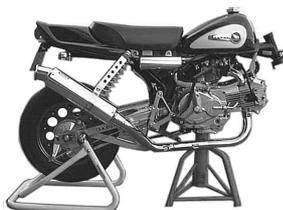


番号	部品名	個数	リペア品番	入数	番号	部品名	個数	リペア品番	入数
1	R.フロントフォーク ASSY.	1	51400 GEF T00	1	19	フロントプレ-キキャリバ ASSY.	1	06 08 115	1
2	L.フロントフォーク ASSY.	1	51500 GEF T00	1	20	フロントプレ-キホ-ス COMP.	1	000 008 0001	1
3	フォークトップブリッジ	1	53230 181 T00	1	21	パンジョ- ボルト	2	09 071 036	1
4	ハンドルアッパーホルダー	2	54411 165 T00	1	22	シ-リングワッシャ	4	09 071 015	10
5	ハンドルローホルダー	2	54412 165 T00	1	23	プレ-キフル-トDOT-4 (220cc)	1		
6	ステムナット	1	54303 165 T00	1	24	フロントフェンダ-ステ-	2	61110 181 T00	1
7	ステムナットワッシャ	1	90503 165 T00	1	25	フェンダ-ステ-カラ-	4	61111 181 T00	1
8	ソケットキャップスクリュー 6×25	2	BW 00 0005	10	26	フロントアクスル	1	06 01 0016	1
9	ソケットキャップスクリュー 6×50	4	BW 00 0024	3	27	フランジキャップスクリュー 8×25	2	BW 00 0080	2
10	ステアリングステムCOMP.	1	06 07 001	1	28	ボタンヘッドキャップスクリュー 6×15	4	BW 00 0079	4
11	ステアリングロックブラケット	1	53601 GEF T00	1	29	ボタンヘッドキャップスクリュー 6×10	4	BW 00 0013	5
12	ソケットキャップスクリュー 6×12	2	BW 00 0029	6	30	6角ナット 6mm	4	BW 02 0005	10
13	ソケットキャップスクリュー 8×30	2	BW 00 0081	2	31	プレ-ンワッシャ 6mm	4	BW 01 0001	10
14	フロントディスクプレート ASSY.	1	06 08 1490	1	32	インシュロックタイ 200mm	2	09 071 042	10
15	フロントホイールハブCOMP.	1	06 08 113	1	33	6角棒レンチ 4mm	1		
16	フロントディスクボルト 8×24	3	90105 KR3 000	1	34	6角棒レンチ 5mm	1		
17	フロントホイールハブカラ-	1	44312 165 T00	1	35	6角棒レンチ 6mm	1		
18	フロントプレ-キマスタ-シリンダ- ASSY.	1	06 08 116	1					

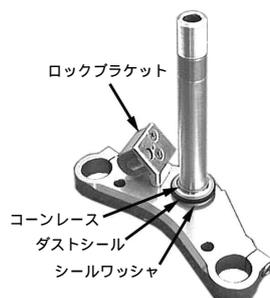
補修パーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいませお願い致します。

## ～取り付け要領～

1. リヤメンテナンススタンドとエンジン下部に適当な台を置き車両を安定させた状態で作業を行います。



2. ノーマルステムシャフトよりボトムコーンレース、ダストシール、シールワッシャ、ハンドルロックを取り外し、ステアリングシステムにそれぞれ組み付けます。



3. トップ及びボトムコーンレースにグリースを十分塗布し、スチールボールを取り付けます。スチールボールは、取り付け前に洗浄し、ゴミ等を付けない様にして下さい。



4. ステアリングシステムをステアリングヘッドに取り付けトップコーンレース、トップスレッドを取り付け、トップスレッドを手で一杯に締め付けます。

システムを左右に4~5回動作させスチールボールをなじませた後、トップスレッドを指定トルクで締め付けます。

トルク：2 N・m (0.2 kgf・m)  
ステアリングシステムは、ガタが無くスムーズに動く事を確認して下さい。



5. フロントメンテナンススタンドを使用し、エンジン下部の台を取り除きます。

トップブリッジを取り付け、ワッシャを入れてステムナットを仮締めします。

6. 左右フロントフォークを、ステムとトップブリッジクランプ穴に通し、ステムの割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：26 N・m (2.7 kgf・m)  
フロントフォーク突き出し量は、左右同じ長さになるように取り付けて下さい。

7. ステムナットを指定トルクで締め付けます。

トルク：59 N・m (6.0 kgf・m)



8. トップブリッジ割り締めボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：26 N・m (2.7 kgf・m)



9. 10インチアルミホイールに、フロントホイールハブをアルミホイールに付属のフランジキャップスクリューで仮締めします。アルミホイールの組み付けは、アルミホイールの説明書を参照して下さい。

10. フロントホイールハブにサイドカラーとスピードメーターギヤボックスをセットし、フロントフォークに取り付けアクスルナットを指定トルクで締め付けます。

トルク：59 N・m (6.0 kgf・m)  
サイドカラーは、径の小さい方をハブ側に向けて取り付けて下さい。

アクスルナット締め付け前にスピードメーターギヤボックスの位置調整を行って下さい。



11. フロントフォークにキャリバーを取り付け、ボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：26 N・m (2.7 kgf・m)  
キャリバー取り付け時、キャリバーとホイールが干渉しますので、ホイールと干渉しなくなるまで取り付けボルトを緩めて下さい。

ホイール取り付けボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：30 N・m (3.0 kgf・m)



12. フロントフェンダーステーとボトムケースの間にカラーを入れ、ボタンヘッドスクリュー6×15で取り付け、スクリューを指定トルクで締め付けます。

トルク：10 N・m (1.0 kgf・m)



13. オプションのフロントフェンダーをフェンダーステーの間にセットします。

ボタンヘッドスクリュー6×10を、フェンダーステーに差し込み、フェンダー裏側にブレンワッシャ、六角ナットで取り付けます。六角ナットをスパナで固定し、スクリューを指定トルクで締め付けます。

トルク：7.8 N・m (0.8 kgf・m)  
フロントフェンダー取り付けは、フェンダーの説明書を参照して下さい。

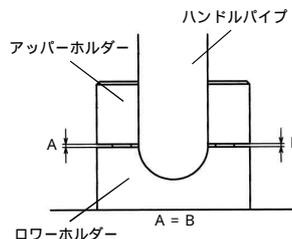


14. オプションのステアリングハンドルパイプを、ハンドルホルダーにセットし、トップブリッジに取り付けます。

ハンドルホルダーのソケットキャップスクリューを指定トルクで締め付けます。

トルク：12 N・m (1.2 kgf・m)  
ハンドルホルダーは前後のすき間が同じになる様に締め付けて下さい。

他の部品は、商品添付の取り扱い説明書を参照し組み付けて下さい。



## フロントフォークオイルの交換要領

1. トップブリッジ、ステムのボルトを緩めフォークを取り外します。  
(フォークトップボルトを緩めてからフォークを外して下さい。)

2. トップボルトが飛び出さない様に注意してボルトを外します。  
オイルパン等を用意し、フォークを逆さにしてカラー、ジョイントプレート、スプリングをそれぞれ取り外します。

3. インナーチューブを伸縮させフォークオイルを抜き取ります。  
(数分間インナーチューブを下側にし、放置して下さい。)

4. フロントフォークを立て、フォークオイルを注入します。

フォークオイル : 20番

フォークオイル量 : 155cc (1本)



5. フォークスプリングに付着したオイルを拭き取り、ピッチの狭い方を底に向けスプリングを入れます。ジョイントプレート、カラーを取り付けトップボルトを仮締めします。



向きに注意

6. フォークをステム、トップブリッジに取り付け、トップボルトを指定トルクで締め付けます。

トルク：20~24 N・m

(2.0~2.5 kgf・m)

**SPECIAL PARTS TAKEGAWA**

〒584-0069

大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

URL <http://www.takegawa.co.jp>

## ブレーキのエア抜き要領

### ⚠ 注意

ブレーキ液補給時にゴミや水を混入させない事。  
 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。  
 抜き取ったブレーキ液は再使用しない事。  
 シーリングワッシャは再使用しない事。  
 ブレーキ液は塗装、プラスチック、ゴム面を傷めるので部品類に付着させない事。  
 ブレーキホースを外すなど油圧系統に空気が混入した場合は、油圧系統のエア抜きをする事。  
 規定トルクは必ず守る事。  
 ブレーキ液は必ず指定のブレーキ液を使用する事。

マスターシリンダーASSYの2本のフラットパンスクリューを外しマスターシリンダーキャップ、ダイヤフラムを外します。



キャリパーのブリーダーバルブに透明なブリーダーホースをつなぎホースの反対側に適当なカップなどで受ける様にします。



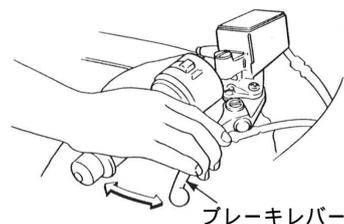
マスターシリンダーのオイルカップ部にブレーキ液を上限線まで補給します。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。  
 ブレーキオイル DOT4.

ブリーダーバルブを1/2回転緩め、ブレーキレバーを握る、放すを繰り返し、ブリーダーバルブからブレーキ液が充分出てくるまでこの操作を繰り返します。  
 オイルカップのブレーキ液量に注意し新しいブレーキ液を補充しながら作業を行って下さい。



### ⚠ 警告

ブレーキディスクローター及びブレーキパッドに油脂類を付着させない事。万一、付着した場合はパッドは交換し、ディスクローターは脱脂する事。損傷部品が見つければその部品は必ず新品と交換する事。

ブレーキレバーを握った状態のままにしてキャリパーのブリーダーバルブを締め付けます。  
 ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。



ブレーキレバーを握ったまま、キャリパーのブリーダーバルブを1/2回転緩めた後、再び締め付けます。

ブレーキレバーをゆっくり戻し、完全に戻ったらそのまま数秒間放置します。

ブリーダーバルブから気泡が出なくなるまで、この操作を繰り返します。

時々、ブレーキ液量を確認し、下限線付近まで減少していれば補給します。

エアーの混入がなければブリーダーバルブを規定トルクで締め付けます。



⚠ 注意: 必ず規定トルクを守る事。

$T = 6 \text{ N} \cdot \text{m} (0.6 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

オイルカップの上限線までブレーキ液を補充し、ダイヤフラム、マスターシリンダーキャップをフラットパンスクリューを用いて取り付けます。



⚠ 注意: ゴミや水を混入させない事。

⚠ 注意: 銘柄の異なるブレーキ液を混用しない事。  
 ブレーキオイル DOT4.